

# 設 立 趣 旨 書

## 1 趣 旨

1990 年代初頭に日本にインターネットが導入されて以来、日々の暮らしや仕事の仕方が大きく変わってきた。今ではスマホの普及とも相まってインターネットのない生活は考えられなくなってきた。また、今後はロボット技術や AI 技術の加速度的な進化も予想され、便利になると思える半面、コンピュータに仕事を奪われるのではないか。いわゆるコンピュータが人の能力を超え、人々を支配するシンギュラリティを心配する声も聞かれるようになってきている。

そういった時代背景の中で、特に障がいを持つ児童の親御さんたちは、将来子供たちが世の中の変化に対応出来る能力を獲得し、仕事を得て自立していけるか日々悩んでいる。現在、名古屋市内だけでも 1 万人以上の障がい児がいて、中には児童発達支援及び放課後等デイサービスなどを通じて、対人能力の向上を図っている。しかしながら、予算や人的パワーの不足から、パソコン機器などに触れさせながらコンピュータの利用スキル(いわゆるコンピュータ・リテラシー)を向上させるような活動を行うことは困難な状況にある。一方、企業側や官公庁から見たとき、「障がい者雇用率の未達」に表されるように、求められるスキルと障がい者のスキルが必ずしも一致しているとは言えず、特に中部地方においては、IT スキルを持った人材の確保・育成が急務となっている。

こうした状況を踏まえ、障がい児に対してそれぞれの障がいの程度や特性を考慮した IT 教育を行い、子供たちの能力開発と自立の精神を育み、就業機会の創出を果たすことを目的とした NPO 法人「未来クラブ」を設立することとした。

「未来クラブ」はその英文名を「NPO・MIRAI・Club」と表記するが、その意味するところは I(インターネット)、R(ロボット)、AI(人工知能)を使いこなせるような Masters を育てることにある。

障がい児の中には、興味ある分野には健常児以上に集中力を発揮する子供や、絵画や音楽に能力を発揮する子供、小動物や植物をあたかも自分の友達として交流できるような子供達がいる。その子供たちの創り出すシステムやプログラムは、AI が進む社会にあっても人間同士の温もりや安らぎとしての価値を提供するものになると確信している。